



豊川柳作

あはれ

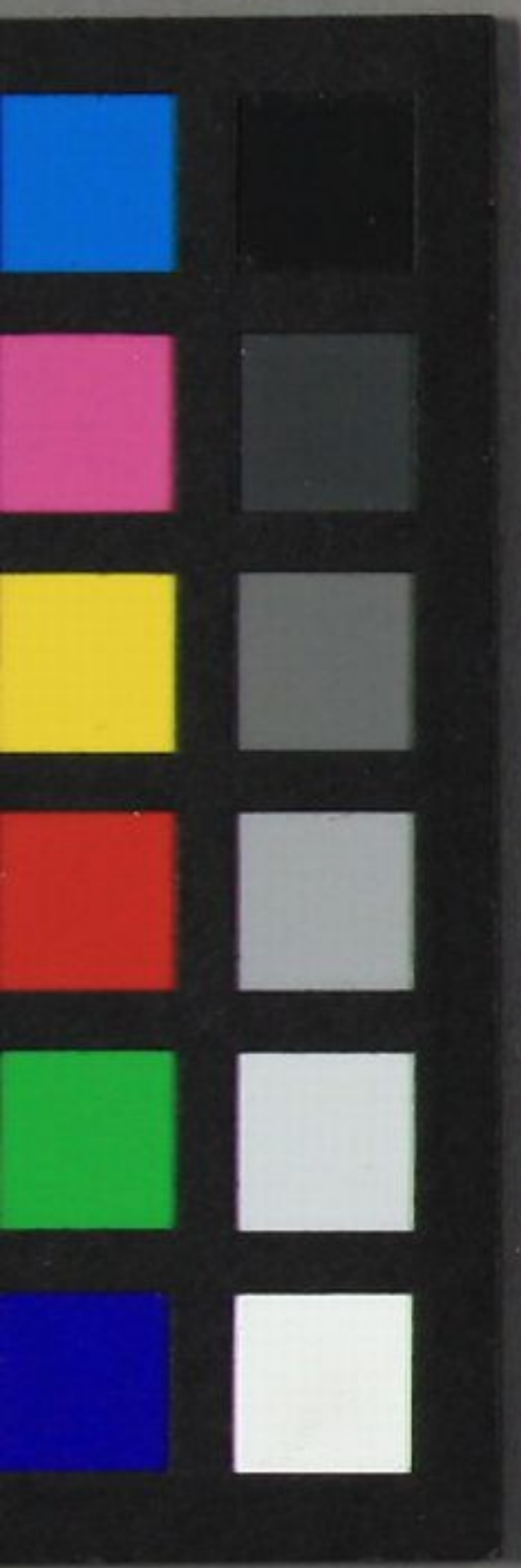
二編下

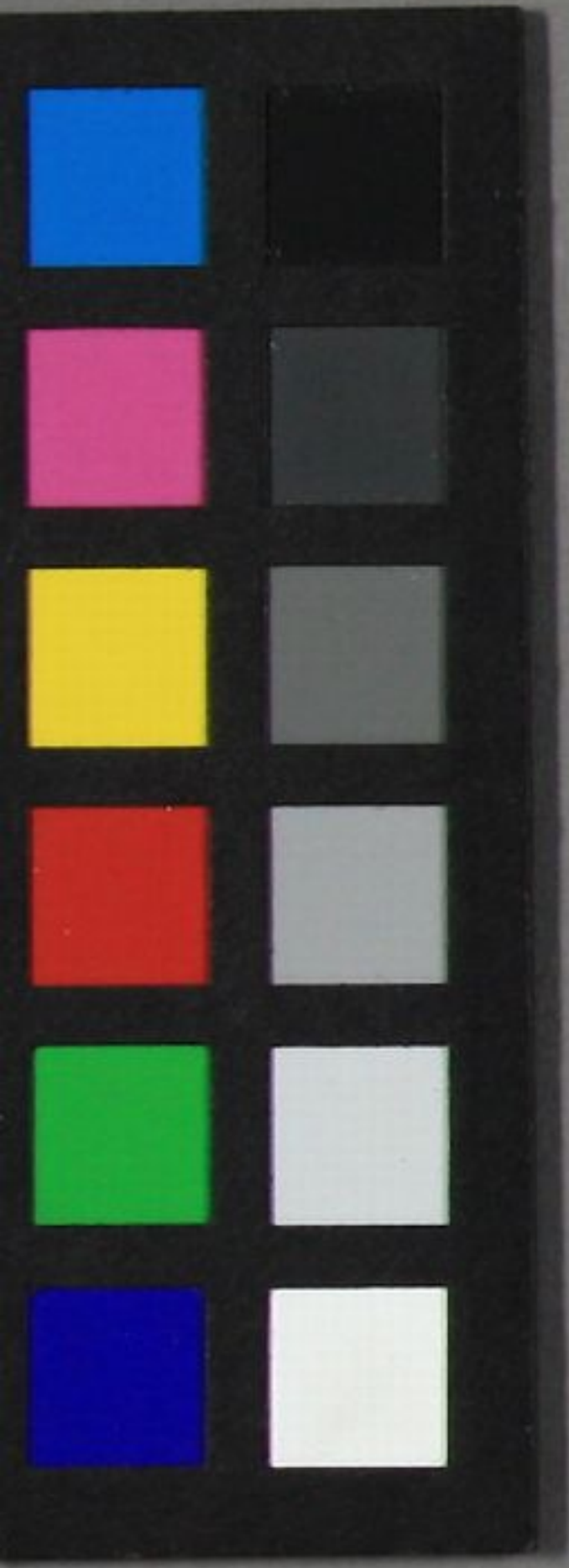


織紫乃

二編上

板
にん



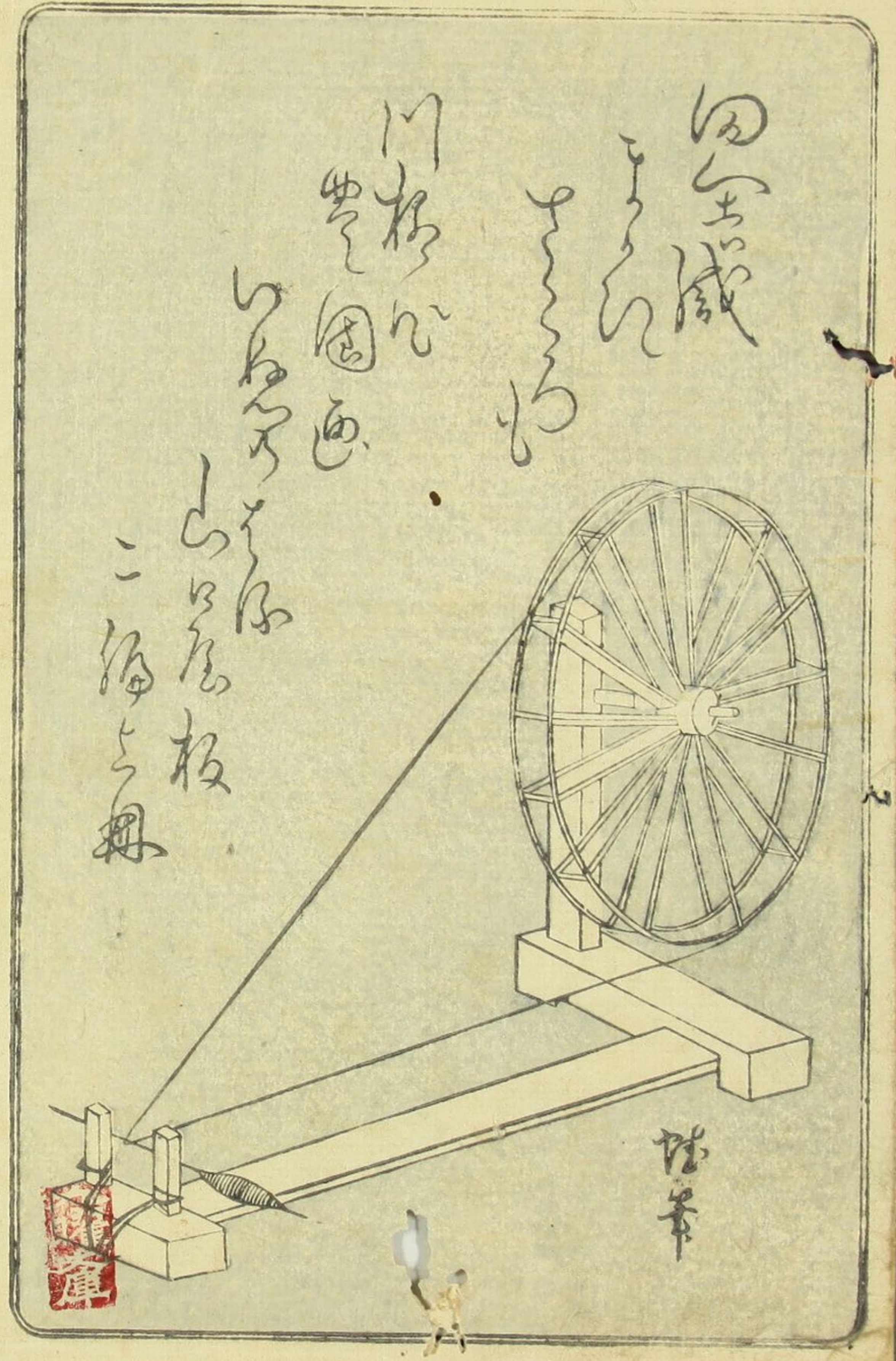


お祭り

二編上

お祭り
板





田舎織糸線狭衣第二編
 やの草紙を依りて古事草紙を述んとするも面影は面
 作ふ似て鬼女彫んとする時と色か面影を合て細女
 と彫んと思ひて顔とを築て目口小愛敬あらんと欲するが如く
 喜怒哀楽に心を寫し針を苦めり只人ふよく見らる事成
 樂むこととも面の作ら古きを以て賞美とせしと神史のわおの
 新しきと古きと捨て流るる魁せんとはれと巧拙徳をなれば目の色
 小粒で古きを捨て流るる魁せんとはれと巧拙徳をなれば目の色
 せぬ良迷も出来ねど百川をむ支怠されば頓て海と成如く聊ち
 とも幼見の勸懲を慧んと筆を取れど実には清女の辞めを身のなご
 るる物への事憎とふあまのれ支を云ふあま

嘉永庚戌春新版

緑亭川柳記

二編



志きつをま乃
椿も
死ら
あゝ
あゝの
君那よ
床は
秋の
産むを死





あめれ
たてま
らんこ
まらた
あらく
けれ
ひうち
るる
とくも
はちあ
とくま
のの
あけ
かこ
入た
る月
かひ
とあ
井の
あち
るよ
まの
あそ
あそ
あそ

あめれ
たてま
らんこ
まらた
あらく
けれ
ひうち
るる
とくも
はちあ
とくま
のの
あけ
かこ
入た
る月
かひ
とあ
井の
あち
るよ
まの
あそ
あそ
あそ



あめれ
たてま
らんこ
まらた
あらく
けれ
ひうち
るる
とくも
はちあ
とくま
のの
あけ
かこ
入た
る月
かひ
とあ
井の
あち
るよ
まの
あそ
あそ
あそ

あめれ
たてま
らんこ
まらた
あらく
けれ
ひうち
るる
とくも
はちあ
とくま
のの
あけ
かこ
入た
る月
かひ
とあ
井の
あち
るよ
まの
あそ
あそ
あそ



曲豆國画川柳作

この曲豆を井ノ木の葉にまきわたる
 さくらんぼの皮をむくや
 かきむすぶ小豆をふりまわす
 のこりをあらいぬぎまわす
 るるるるはなしのすゝめ
 まじりのところあつた
 るるるるはなしのすゝめ
 かかれがかわるるる
 まじりのところあつた
 まじりのところあつた
 まじりのところあつた
 まじりのところあつた
 まじりのところあつた
 まじりのところあつた



遊仙杏春雨草紙
 綠亭川柳作
 一陽齋豊國画

甲吉織糸線袂衣
 綠亭川柳作
 一陽齋豊國画

義列百人一首
 綠亭川柳輯
 一冊 袋入

畸人百首
 綠亭川柳輯
 近刻

昔草紙七巻、そと春賣平、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 思ふふれいふ流行仕のり、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 の顔はゆきに入て、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 其れ好感あるこそ、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 親友の仕ひるむら、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 大式との位のは、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 の室河原の所の、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 張る言つり上、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 著者作、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 流行、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 古の無念、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 又かきむすぶ小豆をふりまわす、
 及に、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 單に、かきむすぶ小豆をふりまわす、
 多し、かきむすぶ小豆をふりまわす、

江戶馬喰町二丁目
 錦耕堂山口屋藤兵衛版







いそいでいの中を
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに
たすくはうけしるる
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに

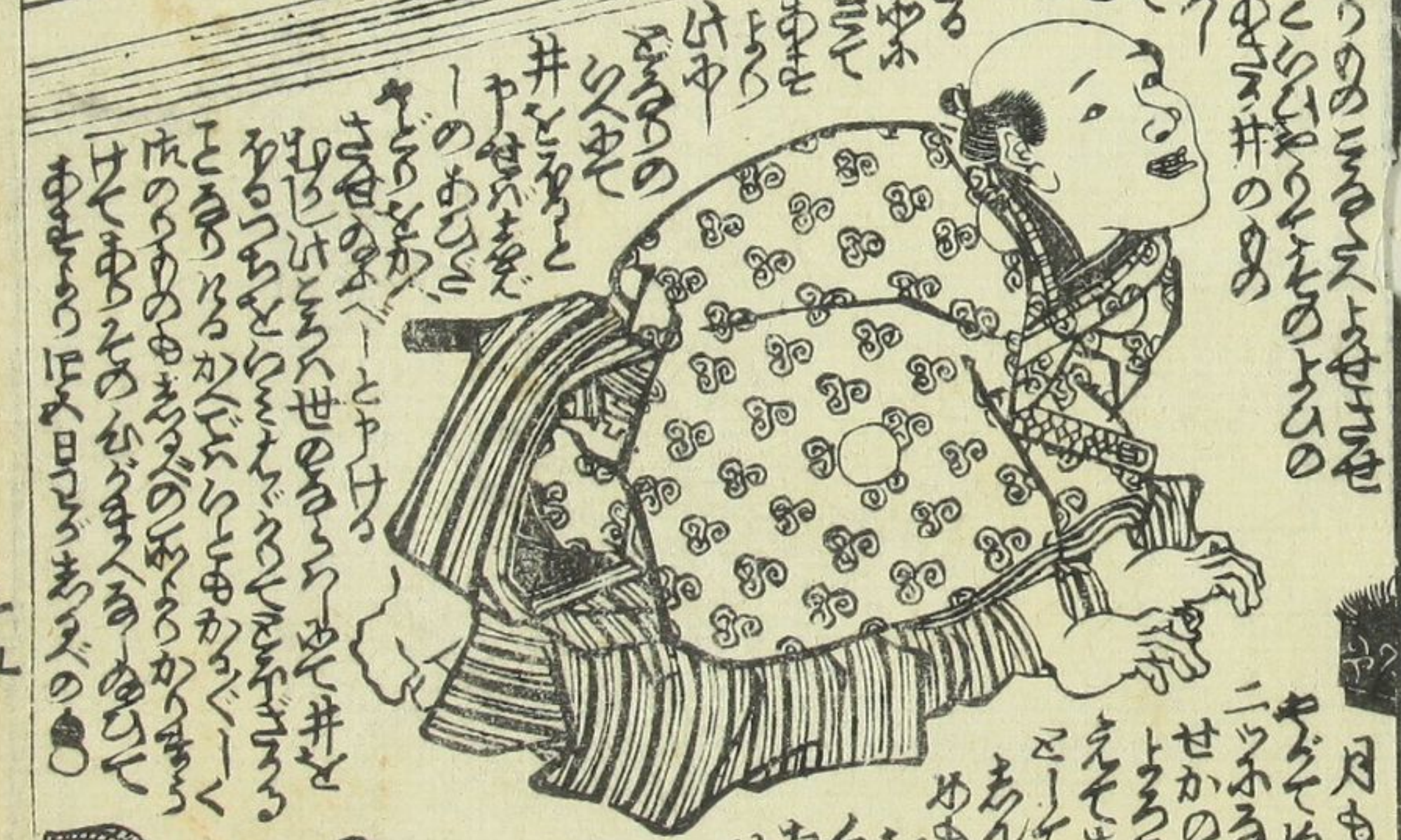
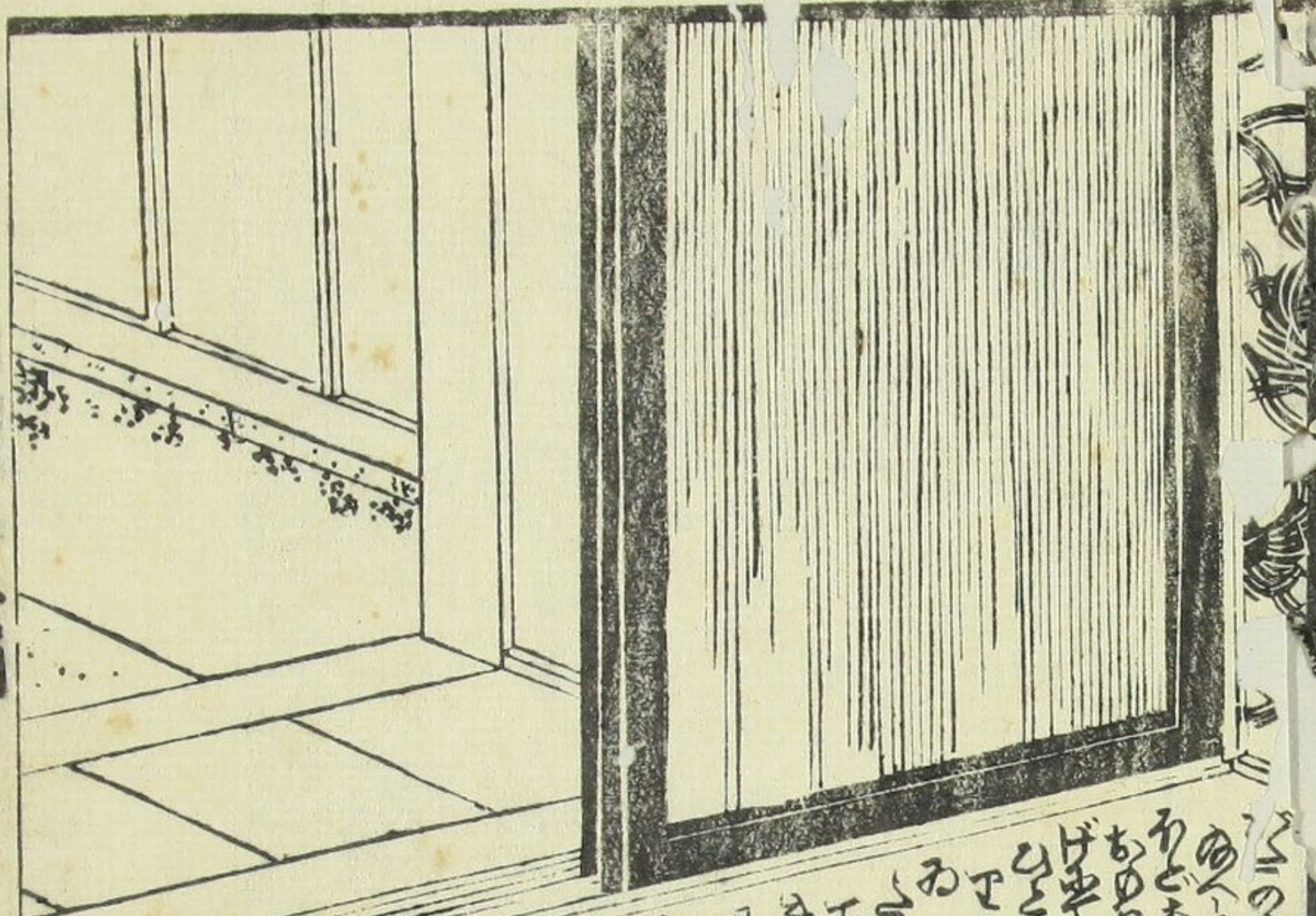
いそいでいの中を
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに
たすくはうけしるる
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに



いそいでいの中を
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに
たすくはうけしるる
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに

いそいでいの中を
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに
たすくはうけしるる
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに

いそいでいの中を
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに
たすくはうけしるる
かみかみおのれたせめて
るどいなるやうにやうに



月もかゝるれば
 せめてめでたき
 ニつふるやまは
 廿かのさゞめも
 ともむしあつ
 さいせむせむし
 さいせむせむし
 さいせむせむし
 さいせむせむし
 さいせむせむし

つまふはむしと
 まるちのるるに
 つまふはむしと
 まるちのるるに
 つまふはむしと
 まるちのるるに



月もかゝるれば
 せめてめでたき
 ニつふるやまは
 廿かのさゞめも
 ともむしあつ
 さいせむせむし
 さいせむせむし
 さいせむせむし
 さいせむせむし
 さいせむせむし

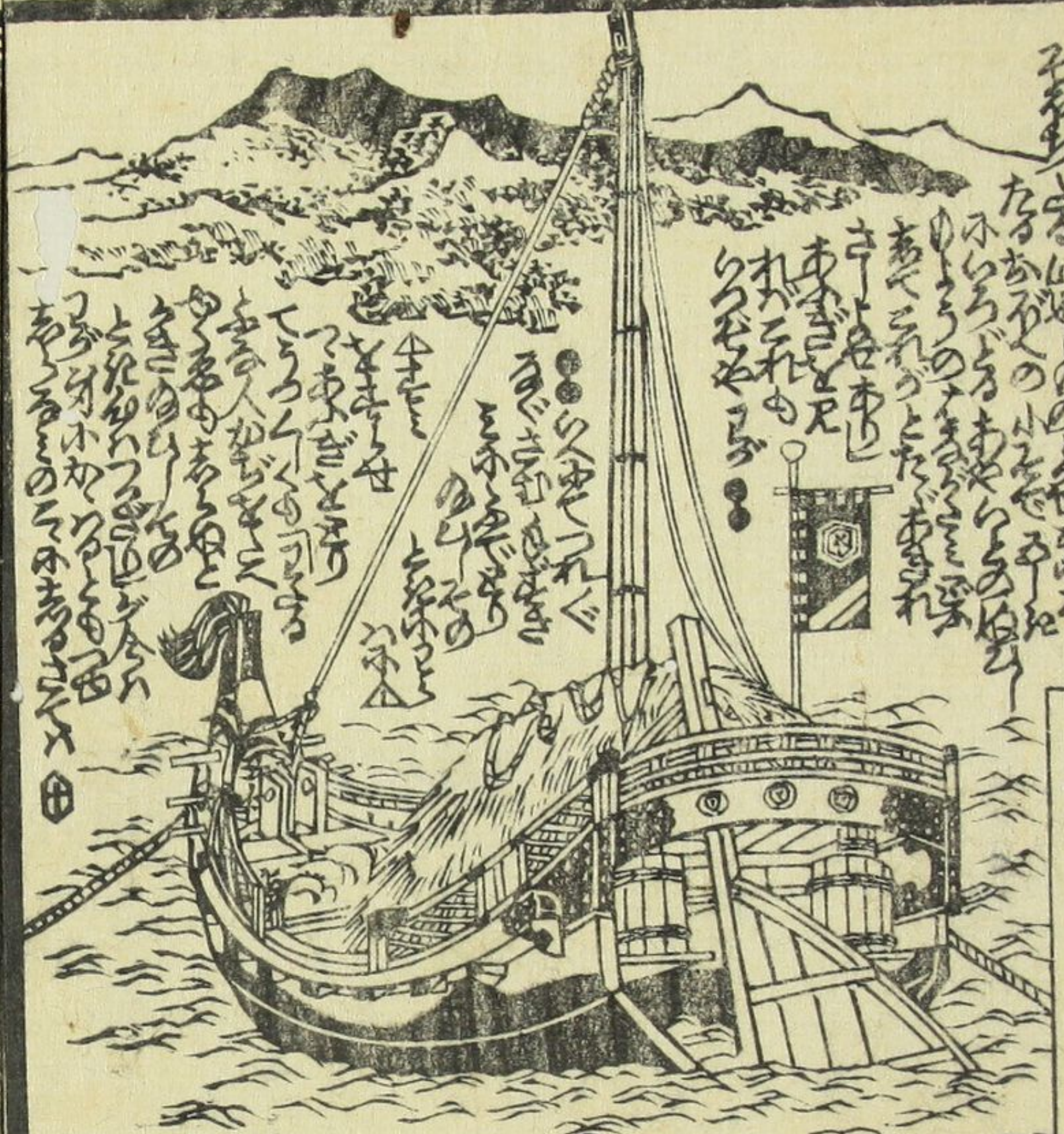
〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの

〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの



〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの
 〇〇のたもこの

豊國画川柳作



田代入春とたのむあや
 一陽齋豊國画
 文亭梅彦作
 一陽齋豊國画
 玉蘭斎貞秀画
 樂亭西馬作
 錦朝楼芳虎画
 長嶋一魁車作
 山東庵京山作
 一勇齋國芳画

江戸鹿子紫草紙

初編 出版

文亭梅彦作
 一陽齋豊國画

坂東太郎後世譚

初編 六編

樂亭西馬作
 玉蘭斎貞秀画

岸柳四魔物語

初編 二編

樂亭西馬作
 一雄斎國輝画

昔語太琴の礎

全冊

長嶋一魁車作
 錦朝楼芳虎画

つまぐし艸玉の盃

初編 四編

山東庵京山作
 一勇齋國芳画

新編柳樽

三十編 追々出衆

書物錦繪問九

馬喰町三丁目
 山口屋藤兵衛板

